

令和5年度までに予定する耕畜連携関連事業の概要

1 奈良県耕畜連携モデル推進会議（仮称）の開催

<第1回推進会議> 令和5年2月8日 ⇒ 本日

<第2回推進会議 議事（案）> 令和5年10月頃
実証事業に取り組む集落営農組合・畜産農家からの報告等

2 WCSに係る給餌法の検討（詳細は資料5）

- ① 県は、令和4年度中に、WCSの給餌目安等を整理した資料を作成。
- ② 令和5年度に、WCS給餌の実証試験（後述5）等を踏まえて当該資料を見直すとともに、畜産農家に広く周知。

3 WCS導入に係る経営収支の試算（詳細は資料6）

- ① 県は、令和4年度中に、WCS生産を行う場合における経営等に関する基本情報等を整理。
- ② 令和5年度に、WCS収穫機等の実証試験（後述4）等の結果を踏まえ、WCS関連機を導入等する場合の経営収支を試算。
- ③ 試算結果については、農畜産業者に広く周知し、集落営農組織や大規模経営体におけるWCS収穫機の導入検討に活用。

4 WCS小型収穫機の実証試験（堆肥施用を含む）

※事業概要には令和5年度予算要求中の事業を含む。

<事前調整>

- ・ 実証試験に協力いただく集落営農組織とWCS取引条件、堆肥施用等を事前調整。

<WCS収穫の現地見学会> (令和5年9月頃)

- ① 集落営農構成員等の関係者の参集の上、現地見学会として、農業機械メーカーによる(小型)収穫機のデモ実証を開催。
- ② 現地見学会では、同社社員が操作する小型収穫機による作業性等を確認。

<堆肥施用の現地見学会> (令和5年10~11月頃)

- ① 集落営農構成員や畜産農家等の関係者の参集の上、現地見学会として、同社社員によるマニアスプレッダーを実証。
- ② 現地見学会では、同社社員が操作する自走式マニアスプレッダーによる堆肥の散布作業を確認するとともに、県から、堆肥散布による作業量や施用効果、耕種農家向け・畜産農家向けの補助制度を説明。

5 WCS給餌の実証試験

<事前調整>

- ・ WCS給餌に協力いただく畜産農家とWCS受入条件等を調整。

<実証> (令和5年度中)

- ・ 飼料切替による食い込みの変化、乳量等への影響、飼料代の変化等をモニタリング。なお、バイオセキュリティの観点から、現地見学会は行わない方向。